

2026年10月吉日

(一社) 長野県測量設計業協会 御中

新建新聞社

建設メディア事業部 担当/伊藤
長野県長野市南県町686-8
TEL026-234-1119

技術者スキルアップセミナー第70弾

建設ミライセミナー次世代インフラメンテナンス最前線

～「群マネ」最新動向と、点検・施工プロセスを劇的に変えるブレイクスルー技術～

ご共催および共催名義の使用についてのご依頼

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、長野県内で建設専門紙を発行する「新建新聞社」は、2026年10月30日に建設関連産業の技術者を対象としたオンラインセミナー『建設ミライセミナー次世代インフラメンテナンス最前線』を開催する予定です。本セミナーでは、各分野の第一人者より、最新の技術や事例について発表いただきます。土木技術者に現場知識を身に付け、事例について学べる内容をお届けしたいと考えております。

つきましては、本セミナーの開催趣旨をご理解賜り、ご共催を賜りたくお願い申し上げます。

セミナーの詳細については、下記の内容をご高覧いただき、ご検討のほど重ねてお願い申し上げます。

敬具

記

■開催日／オンライン 2026年10月30日 金曜日 13:00～17:00

■開催場所／オンラインセミナー (ZOOM Workplace)

■参加費／①聴講料：無料

②継続学習制度【CPDS ユニット/設計 CPD 単位】希望者：申請代行手数料：6,600円

■定員／300人を予定 開催2日前17時締め切り ■申込み：弊社 WEB ページより申込み

■対象者／建設関連企業の技術者など ■研修レベル 初・中級

■目的／新技術の情報共有 技術者の研鑽と資質向上

■主催・共催／主催：新建新聞社 共催：(一社) 長野県測量設計業協会

■後援／一般社団法人全国建設業協会

■依頼事項／本セミナーへのご共催と名義使用について

申請者 株式会社新建新聞社 セミナー事務局 伊藤尚史

長野県長野市南県町 686-8

TEL : 026-234-1119 / FAX : 026-235-8386 Email: seminar@shinkenpress.co.jp

(添付資料)

技術者スキルアップセミナー第70弾

建設ミライセミナー次世代インフラメンテナンス最前線

～「群マネ」最新動向と、点検・施工プロセスを劇的に変えるブレイクスルー技術～

■開催日／オンライン 2026年10月30日 金曜日 13:00～17:00

■開催場所／オンラインセミナー (ZOOM Workplace)

■参加費／①聴講料：無料

②継続学習制度【CPDS ユニット/設計 CPD 単位】希望者：申請代行手数料：6,600円

■定員／300人を予定 開催2日前17時締め切り ■申込み：弊社WEBページより申込み

■対象者／建設関連企業の技術者など ■研修レベル 初・中級

■目的／新技術の情報共有 技術者の研鑽と資質向上

■主催・共催／主催：新建新聞社 共催：(一社)長野県測量設計業協会

■後援／一般社団法人全国建設業協会

国内の公共インフラは建設から50年以上が経過する施設が加速度的に増加しており、まさに「インフラ老朽化のピーク」を迎えようとしています。一方で、建設業界における深刻な担い手不足や時間外労働の上限規制により、従来の「個別施設ごとの管理」「熟練者の目視や手作業に依存した点検・施工」では、質・量ともに維持管理の継続が困難な限界点に達しています。今、インフラメンテナンスの現場には、根本的な仕組みの見直しと抜本的な生産性向上が急務となっています。こうした「インフラクライシス」を打ち破る鍵となるのが、マネジメントの変革とテクノロジーの社会実装です。本セミナーでは、インフラメンテナンスにおける「政策・マネジメント」「上流(点検・設計)のDX」「下流(施工・材料)の革新」の3つの視点から、次世代の土木技術者が知るべき最新動向を網羅的に解説します。

講師・スケジュール

新建新聞社より

開会・事務局からのご案内 13:00～13:10

Session 1

13:10～14:20

『日本のインフラ危機ーその現状と未来への処方箋ー』

日本大学工学部 工学研究所長・土木工学科教授 岩城 一郎氏

『日本のインフラ危機』(講談社現代新書)に基づき、高度経済成長期に整備された橋や上下水道などのインフラが一斉に老朽化する一方、人口減少や財源・担い手不足が進む日本の現状と課題を明らかにするとともに、豊富なデータと実例をもとに、良いインフラを造り、長く使い、地域全体で守っていくための処方箋について解説する。

Session 2

14：30－15：40

『大改修時代 染めQが担う

劣化した躯体と新素材を一体化させる補強工法』

株式会社染めQテクノロジー

SDユニット 部長 井上 幸一氏

高度経済成長期時代に一斉に建てられたインフラ設備や建屋などの多くが老朽化で朽ち果てようとしています。劣化してしまったモノを再生延命化することが可能となった新技術の紹介です。鉄でもコンクリートでも木材でも対象物を選ばず全てのモノが再生できる新技術です。弊社では社会貢献が果たせられるように日々研究開発を行っております。

Session 3

15：50－17：00

『ロボティクス・3Dデータ活用によるインフラメンテナンス事例』

株式会社イクシス 取締役 CTO 山崎 文敬氏

ヒューマノイドロボットや4脚ロボットが人間を凌駕する性能をたたき出し、またフィジカルAIというワードが日々のニュースを埋めつくす昨今、インフラ業界でのロボットやAI、3Dデータ利活用が注目を集めています。一方で、思ったほど実装が進まないという現実もあり、本稿ではいくつかの事例を紹介しその傾向や、実装のための方策について紹介します。

○受講者の皆様へのお願い

【継続学習制度の受講証明について】

■CPDS のオンラインでの認定について：開始時、途中、終了時に、受講者の顔と受講番号が写った画面のスクリーンショットを撮影するほか、申込み時に CPDS ユニット取得の希望を募り、リスト化する。事後セミナー事務局にて所属、氏名、番号の入ったリストとスクリーンショットを提出する。ユニットの申請は事務局が一括にて行う。

■設計 CPD のオンラインでの認定について：申込み時に CPD の単位取得の希望を募り、リスト化する。受講者は受講後3営業日までを期限にアンケート内にセッションごと設けられたレポート(学びや気付きなどについて200字目安)を記載し、提出する。事後セミナー事務局にて、所属、氏名の入ったリストと、受講者に送付した領収書の控え、アンケートの回答を提出する。その上で受講証明書を受講者に発行する。

※条件を全て満たさない場合は、CPD 受講証明書の発行はできません。

■継続単位制度の利用について：当セミナーでは、CPDS と設計 CPD は重複して申請できません。

問い合わせ先

株式会社新建新聞社 セミナー事務局

長野県長野市南県町 686-8

TEL：026-234-1119 / FAX：026-235-8386

Email: seminar@shinkenpress.co.jp